

## 令和5年度 第4回 北区自治協議会 議事概要

**日時** 令和5年7月27日(木)午後1時30分から

**会場** 北地区コミュニティセンター 2階大ホール

### **出席者 委員**

坪木委員、諏訪委員、小日向委員、飛鳥井委員、佐藤(康)委員、阿部委員、前田委員、恩田委員、清水(博)委員、有田(一)委員、佐久間委員、佐藤(茂)委員、清水(文)委員、小熊委員、此村委員、佐藤(成)委員、三浦委員、石山委員、寺山委員、横山委員、野口委員、小林委員、日下委員、伊藤委員、遠藤委員、川島委員、佐藤(哲)委員

計27人

(欠席：菊地委員、竹島委員、有田(竜)委員)

### **事務局**

#### **[北区役所関係]**

区長、副区長兼地域総務課長(以下「副区長」)、区民生活課長、健康福祉課長、産業振興課長、建設課長、消防局北消防署長、北区教育支援センター所長、豊栄地区公民館長、北下水道分室長、農業委員会事務局北事務所長、地域総務課長補佐2人、地域総務課職員4人、

計17人

**傍聴者** 3人

### **内 容**

#### **1 開会**

#### **2 報告事項**

##### **(1) 令和6年度特色ある区づくり予算事業について(委員提案分)**

前田会長

次第2、報告事項(1)「令和6年度特色ある区づくり予算事業について(委員提案分)」、報告資料1のとおり、八つのアイデアが出ております。提案いただいた委員から、それぞれ説明をお願いします。質問は最後に一括で受けたいと思いますので、お願いいたします。

## 清水(文)委員

地域課題は、どこにでも書いてあるような中身ですが、改めてこのように書きました。

少子高齢化がますます進行する中で、特にこの北区の強みといわれている「自然環境の魅力」、このことについて、より効果的に発信して交流人口の拡大を図ることが、現実的ではないかと考えました。それには、大学生や中高生を含む若者の大胆な発想を取り入れるなどしながら、スピード感をもって取り組むことを大いに期待しています。

北区の取組みにもありますように、観光資源に直結する、特に海辺の森の賑わい創出に対して非常に関心があり、このことについてもっと大胆に、具体的に活動していくことが効果的と考え記載しました。

## 前田会長

ありがとうございました。2番目の福祉教育部会、お願いいたします。

## 三浦委員

福祉教育部会は支え合いのしくみづくり推進員の三浦から説明します。

こちらは新潟医療福祉大学の学生さんから発案がありました。これを基に部会の意見としてまとめました。

区ビジョンまちづくり計画に、新潟市は脳血管疾患による死亡率が高く、北区はほかの区に比べて特に脳内出血の死亡率が高いということ。予防には生活習慣の改善と定期的な健診が重要だが、受診率が低いという地域課題がありました。

これに対しての事業やアイデアということで、地域の茶の間を活用した健康講話・相談会の開催。大学生も一緒に携わっていく。講話・相談会の内容は、目で見える形での体験をしてもらう。血管年齢測定や、一日の家庭の味噌の量を計って脳梗塞につながる確率を数値で示す。ここの部分で、意識を変えることはとても大義なことです。事例として、長野県が全国一の長寿県になっていった過程の中で、保健師の取組みがありました。朝の味噌汁の味噌の量を変えようと学習活動を何度も繰り返し行った結果、生活習慣を変え、定着化させたということがありました。そういった地域全体を巻き込んだ変化につなげていった事例に基づいて、何か北区でできないかという発案です。高齢者だけでなく、若い世代へも家族の一員として働きかけていってはどうかといったアイデアです。

## 前田会長

ありがとうございました。3番目について、佐久間委員、お願いします。

## 佐久間委員

地域課題として、全国的に見ても、若年妊娠、性被害、性加害、高齢出産、不妊症、虐待の問題、性に関する問題が年齢を問わず増加している印象があります。思春期の早い時期から、正しい知識を身につけることで回避できる問題もあるのではないかと日々思っています。特に高齢出産に関しては、いつまでも女性は妊娠して出産できると思っている人が割と多く、そうではないことを早い時期から考え、ライフプランを考えてもらう。そもそもそういう知識がないから考える機会もない。性教育というところごく嫌な目で見られますが、私は人権教育と捉えています。人権教育として、自分自身を守るため、他者を大切にすることを高めるための取り組みが必要と考え、それは義務教育の間にすべきと思っています。提案としては、思春期の心と体の健康教育ということで、中学・高校で専門職による性教育や、命の安全教育。今、文部科学省からも義務付けられているはずなのに行われていない学校が多いので、そういう教育を行って、正しい知識を身に付け、相手を思いやる気持ちを育み、自分自身や相手の生命の大切さ、自他を大切にすることを高めていくという提案です。

もう一つは双胎支援事業ということで、新潟県は全国的に見て双子が多い県です。北区は双子が増えています。一人でも大変なのにいっぺんに二人の赤ちゃんがいるため、育てることがとても大変です。県も支援体制はありますが、実際、双子を育てたお母さんから生の声を聞くことはとても大事だと思っています。同じ境遇のお母さんたち、妊婦さん、産婦さんの交流の場を設けて、ピアサポートの充実を図ることで安心して子育てができるのではないかと考え、提案しました。

## 前田会長

ありがとうございました。4番目から6番目は菊地委員からの提案ですが、本日は欠席ですので事務局をお願いします。

## 事務局

事務局から代読させていただきます。

4番の地域課題は、北区になって20年近くになるが、未だに旧新潟市の北地区と豊栄地区の一体感がなく、交流も一部しかない。これからの北区の発展を考えると活発な活動をとおしての交流が必要であるということです。

提案として、文化芸能をとおしての交流。松浜地区には松浜盆踊り太鼓保存会や松浜太鼓があり、岡方地区も神楽が盛ん。地域で活動している芸能に上限20万円の予算を計上し、

北区芸能祭を開催し交流を図るという提案です。

5 番。地域課題として、松浜海岸自然環境保全と水辺環境魅力発信事業は期間が長期化して区づくり予算が限定され、ほかの案が提案できない状況。国、県の直轄事業にできないか。北区は他区より人口減少が顕著。対策を講じないと少子高齢化が進み、空き家問題が増加していくということです。

提案として、松浜は新潟都心部から 10 キロメートル圏内であるため、通勤圏として北 3 地区を、新崎駅をハブ駅として新潟、豊栄につなぐ公共交通手段を整備する。コミュニティと行政が協働で空き家のシェアハウスを検討する。学生に無償または安価で賃借する。その代わりに、若者の発想や専門的な知見を活かし、まちの活性化につながる提案や活動を支援するという事です。

6 番。地域課題として、就職先が少なく若い人材が地域から離れていく。学生向けの衣料品等の店がない。観光スポットがない。児童館がない。駐車場が少ない。

提案として、空き店舗を活用して働ける環境をつくる。マーケットシティや道の駅の設置。イベントの開催、SNS を活用し、まちのアピールを行う。ゆるキャラの検討。移住してきた方に補助金。浜の釣り場に駐車場の整備という三つの提案でした。

## 前田会長

ありがとうございました。7 番目、小熊委員、説明をお願いします。

## 小熊委員

私は、葛塚中央コミュニティで 6 月に民生委員と自治会長とで一人暮らしの世帯や気になる世帯を訪問しました。その中で気づいたことを記入しました。

訪問先で、「夕ご飯、どうしていますか」と言うと、「息子が 6 時過ぎに帰って来てご飯を作っている」とか、息子さんが結婚していなかったり、今は離婚していたりという世帯が多いです。日中は高齢者だけの世帯を何とかできないかということで、課題としてあげました。

それから、「介護保険を使えばいいのに」と思う世帯もけっこうありますが、本人が行きたがらないということで息子さんから話を聞き、そういうところを課題にあげました。

あとは、どうしたら北区にいてくれるのかということで、空き家をリノベーションして安価で貸し出すとか、働くところがないと残っていただけないので企業誘致。あとは、南浜の朝市の PR が必要と思います。また、道の駅全国第 1 号店ももう少し PR して、働く場も少しずつでも作れたらいいなということであげました。

## 前田会長

ありがとうございました。それでは8番目に移りますが、私の提案です。

北区の防災対策の現状はどうなっているのかということはこの自治協議会で問題にしてはどうかという考え方です。関係する市や県、国からの説明を聞き、現地視察を実施して、それに基づく事業を区づくり事業計画の中に盛り込むということが私の考え方です。

「防災対策研修・現地視察」について、阿賀野川、福島潟、加治川などの河川の氾濫及び津波に対する市・県・国の防災対策の現状と課題について、北区民を対象に説明会を開催する。福島潟の周りを今、堤防で囲っています。その事業主体は多分国だと思いますが、本当のところは分かりません。過去、北区では何回も洪水がありました。福島潟放水路もできています。できた当時はいろいろ説明があったと思います。しかし今、北区の委員としては、現地を把握しないと何の対策もできない。委員として視察や説明を受ける必要があるというのが(1)として書いてあります。

そして、皆さんの世帯にお配りされているハザードマップ。いろいろな色がついています。しかし、これをどのように使えばいいのか。例えば阿賀野川のこの地点で阿賀野川が破堤した場合、どのような形で水が拡散していくのか。岡方地区の防災関係の委員会の中では、川から離れた部分は、多くは2階に避難したほうが良いという結論です。近いところは水流の流れもあるのでなかなか難しい。私の地元でも説明会をしました。何人かは、「私の家はどうすればいいか」と聞くのです。私は多分、この氾濫シミュレーションでいくと、一時は3mくらい上がるかもしれないが、一日半後には50cmまで下がるので大丈夫だと思う、と言いました。その時にいた防災士に聞くと、「軽々には言いません」と言いました。私はハザードマップだけでは無理で、もう少し公が何か指示を出してもいいと思います。そういう意見交換をやってはどうかということです。

(2)の避難所運営体制については、岡方でワークショップ等を行いました。避難所運営体制を作るということで、各学校に、各自治会から、十四、五人委員を出しました。しかし、本当にそれが機能しているか疑問です。自治会の役員は任期があり交代します。そうしたときに、本当に避難所運営の訓練ができるか疑問です。岡方でやった時は、指示する人がいませんでした。この辺のところをもう少し北区として提案してはどうかという形です。新潟市の中で308個の避難所があります。そのうち多分、名簿だけができているところは百二十何件かでしょうか、ほかは全く手つかずです。本当の意味で避難所運営体制を整備するのなら、もう少し議論があってもいいというのが私の考え方です。以上です。

それではご意見、ご質問などがありましたらお願いします。

## 伊藤委員

前田委員のアイデアにプラスとして、私は北区郷土博物館でボランティアガイドをしており、北区の水との闘いについて話をする機会があり、学芸員の方から学んでいます。例えば放水路はこの大雨のときにこうなったとか、過去、この施設がどのように役立ったか説明いただくということも、今作っている福島潟のものはこういうことに対応しますとか、情報をいただく研修も中に入れてもらうと分かりやすくいいと思いました。アイデアが活かされることを期待しています。

## 副区長

企画事業についてご提案、アイデアをお出しいただきありがとうございました。

今後の区づくり予算の事業スケジュールですが、いただいたアイデアを区役所担当課等に伝え、参考にしながら事業案の検討、作成を進めていきます。11月の自治協議会で令和6年度の区企画事業の提案状況をお示ししたいと思います。最終的には12月の自治協議会において区づくり予算事業案の全体の意見聴取をお願いし、承認いただきたいと思います。

一方、部会で取り組んでいる自治協議会委員提案事業については、10月の部会までに内容を詰めていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

今回広範囲でさまざまなご意見をいただきました。先月の自治協議会で説明しましたが、防災と福祉については、この区企画事業の中では新規で単独、直接的な反映は難しい部分があります。今の事業の中で工夫できる部分があるかと思えますけれども、できない場合もあります。また、検討する中で、この区企画事業だけではなくて、市も含めた予算で考えられる部分もあるかもしれません。また、これらの北区の課題を、アイデアを取り入れたり、担当課に伝えるなど、いろいろ工夫して検討を進めていきたいと思っています。

## 前田会長

今の件で何かご質問とかありますか。ないようであれば、次に移ります。

## (2) 部会の会議概要について

### 前田会長

次に報告事項(2)「部会の会議概要について」、各部会長から報告をお願いいたします。

## 佐久間委員

地域づくり部会です。

各委員から防災、産業、道路、除雪など多数のテーマ案が出されました。事務局で集約し、きちんとテーマがありアウトプットできるものということで話し合いました。

昨年度事業の「まなぼうさい」に引き続き、防災の話が盛り上がり、テーマを防災に決めました。今日また詳細を話し合う予定です。詳細は書いてあるとおりで。

## 清水委員

福祉教育部会から報告いたします。

第9期委員提案事業にかかる調査・研究のテーマについて、4名から提出がありました。意見は裏面に記載のとおりです。

二つ目の令和6年度区づくり予算事業について、事務局から個人提案だけでなく、部会や少人数のグループでの提案も受け付ける。本日いただいた意見も提出することも可能という説明がありました。

## 小日向委員

自然文化部会です。

先月の部会では、前に出たそれぞれの提案の中から、今年度調査・実施するテーマについては、北区をめぐり、魅力ある景勝地・施設等をみて、まず我々が専門家の話を聞いて勉強し、それから具体的に決めようということで話を進めてきました。

まず、この北区の中を勉強するというので、3回ほど、見たいところを回って勉強する計画を立ててあります。自治協議会終了後、今日はひょうたん池や島見浜海水浴場、海辺の森視察を行います。秋までにはそれらを基に提案事業をもう少し具体的にしていこう予定です。

## 前田会長

ありがとうございました。今の報告について、何かご質問とかご意見とかありましたらお願いします。特になければこの件はこれで終わります。

## 3 その他

### 前田会長

次に次第3、「その他」についてです。事務局からなにかありますか。

### 事務局

今日机上配布した北区の自治協議会研修会についてです。事前に送付した全体研修会とは

別に、区で行う研修会の案内です。皆さまから先日アンケートをしていただき、他区の委員さんとの意見交換会または見学をしたいという要望が多かったので、計画しました。8月31日木曜日、1時間程度、東区の自治協議会委員の皆さんと意見交換会の予定です。

併せて、全体研修会、9月5日です。こちらもぜひご参加いただければと思います。

### **豊栄地区公民館長**

北地区公民館からと豊栄地区公民館からご案内いたします。

北地区公民館、「夏休み学習室」です。夏休みの期間、優先的に学習コーナーを用意していますので、ぜひご利用ください。

続いて北地区公民館の、「キネマ松浜劇場」。8月と9月の演目があります。よろしければ足をお運びください。

続いて「ゆりかご学級」は、今年の2月から5月に生まれた赤ちゃん、こちら北地区公民館での5回講座を予定しています。お近くにいらっしゃいましたらお声がけいただけるとありがたいです。

続きまして豊栄地区公民館、朗読劇。7月30日に、毎年この暑い時期に北区から平和への発信を続けている「葛の葉」&Kの演劇です。大きな劇場とは違い、間近で見て聞く朗読劇はまた違った迫力がありますので、ぜひ足をお運びいただけたらと思います。

最後に、豊栄地区公民館から、資料はありませんが、豊栄大民謡ながしについてご案内です。このたび、9月5日に久しぶりに豊栄大民謡ながしを開催することが決定しました。ただ、3年お休みしていた中で、いろいろな課題、やり方の検討を今実行委員会がしています。会場は、これまでのように道路で開催するのではなく、北区役所前の駐車場が完成するので、駐車場を開放した民謡流しという形で検討しています。追ってご案内いたしますので、よろしく願いいたします。

### **前田会長**

ありがとうございました。委員の方から、何かご発言などありますか。

### **川島委員**

新潟市の都市計画区域の見直しが実施されて、新たに14地区が選定されたということを知っています。その中で、北区は豊栄駅北土地区画地整理事業と健康スマート学園都市島見地区が選定の候補になっています。これの進捗状況ならびにこれからどのように進めていくのかということをご説明していただきたいのです。

## 建設課長

今、2 地区が選定されたという状況で、これから北陸農政局と実施に向けた協議が始まるというところでは、いろいろな課題が先方から示されますので、それを各事業者や区画整理の組合などで、解決していくことによって進んでいくという状況です。まだ協議が始まっているわけではなく、今、準備中というところでは。

## 前田会長

そのほか何か、皆さんからご意見とかございますか。

ないようであれば、私から来月の会議開催についてよろしいでしょうか。

新潟市区自治協議会条例第8条によりますと、会議の召集は会長がすることになっておりますので、私から提案いたします。

第5回、8月の自治協議会は8月28日(月)開催予定となっておりますが、現時点で審議事項や報告を受ける案件の予定がないということです。皆さまにお諮りしたいと思います、8月の全体会議で何かご審議したいことがありますでしょうか。特にないようでしたら、全体会議は開催せず、部会については、開催の必要がある部会は開催することとしてよろしいでしょうか。(異議なしの声)

それでは、8月の全体会議は休会とし、各部会のみ開催といたします。今後の状況により開催が必要となる場合がありますら、事務局と相談し、適宜対応することとします。

予定された議題および連絡事項は以上です。

それでは、事務局に進行をお返しいたします。ありがとうございました。